

シンポジウムの種

第2号 6月21日発行
宮城学院女子大学学芸員課程
2022年度シンポジウム実行委員会
連絡先 人間文化学科副手室
TEL 022-277-6166

～シンポジウムパネラー決まる～

3つの館からパネラーをお招きします！

わたなべなおこ

渡部直子氏（仙台文学館学芸室長）

さとうゆうすけ

佐藤祐輔氏（仙台市縄文の森広場所長）

わたなべなおと

渡邊直登氏（仙台市歴史民俗資料館学芸員）

多様性と

～全ての人に開かれた博物館を目指して～

博物館

日時：7月23日（土）

13:00～16:00

会場：大学講堂

主催：宮城学院女子大学学芸員課程

【連載】お招きする博物館の紹介2

仙台市縄文の森広場



写真 地底の森ミュージアム・縄文の森広場年報より

広場で育てている植物の樹名板にはQRコードを導入されています。
その場で植物について知ることができるツールです。（右写真）
この取り組みについてパネラーの佐藤祐輔様にお話を伺いました。



← 樹木のQRコード

仙台市縄文の森広場所長
佐藤祐輔様

QRコード導入の際、困難なことはありましたか？



実行委員

既製品の樹名板を設置すると記載情報が画一的で縄文の森広場らしさを出すことができないため、一からの製作でした。考古学の研究は成果の更新が早いため、一度製作してしまうとすぐに情報が古くなるという問題もあります。それらの問題を解消するためにHPと連動させたQRコード付きの樹名板にして、適時情報の更新を行うようにしました。



「博物館実習」ってどんな授業…？

「博物館実習」は (a) ～ (d) のクラスに分かれ、学芸員に必要とされる技術を様々な実習を通して学ぶ授業です。作品の展示や展示物の扱いなど、博物館において必要な知識を体験的に学ぶことができます！

會田組 (d) パネル作成の様子



前期前半の実習では、フィルムカメラの構造や仕組み、正しい扱い方、魅力的な写真の撮り方などを学びました。実際に外に出て試行錯誤しながら撮影し、自分が「これだ！」と思う写真が撮れた時は嬉しかったです。

パネル作成や会場の設営なども自分たちで行いました。作品の制作から展示までの工程にはやりがいと達成感を感じます！

六月十三日(月)～十七日(金)に開催された写真展が無事終了いたしました。
ポスター制作に始まり、展示作業、会期中の運営、撤去作業まで自分たちで行い、充実した写真展となりました！



「写真展」終了いたしました

木村組 (c) 写真展览展示作業の様子



編集後記

みなさん、『シンポジウムの種』第二号いかがでしたでしょうか。今号では、1面にシンポジウムに参加されるパネラーの方達のご紹介、【連載】では仙台市縄文の森広場をご紹介しました。2面には、博物館実習の授業内容や写真展終了のお知らせを掲載いたしました。次号の連載は、仙台市歴史民俗資料館をご紹介します。また、写真展では宮城学院の学生や先生方、お忙しい中、展示会にお越しいただき誠にありがとうございます。お陰様で、盛況のうちに閉会することができました。重ねて、感謝申し上げます。では、また次号お会いいたしましょう。(松本、木村、柳谷、砂子澤)